

# 三位一体の神との交わり、 関係のうちに

クリスチャンライフ学院 学院長

重田稔仁



私が日常生活で平和を感じるのには、自宅リビングのソファでくつろいでいるとき、私の横で飼いだ、無防備に仰向けになってお腹を見せて舐（いびき）をかきながら寝ている姿を横目に見る時だ。

私が日常生活でいのちを感じるのには、愛する人と心が通じ合う喜びに満たされる時だ。いのちと平和は私たちの日常にあってそれは空気のようなものだと思うが、まさにそれを欠いては、国、社会、共同

人を含む地上のすべてのいのちは、主なる神のわざによると記されている（創世記1章11節、1章20節、2章7節）

平和の創造について  
それは、主なる神のわざによると創世記2章に記されている。

「神は第七日を祝福し、この日を聖なるものとされた。その日に神が、なさっていたすべての創造のわざをやめられたからである。」（創世記2章3節）

いのちと平和が神の創造によるなら、人がいのちと平和を尊ぶためには、創造主なる神を知ると同時に神がそれらを創造した目的に従って生きる必要があるのではないか。

「神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。」（創世記1章27節）

創造主なる神はどのようなお方か？  
主は他者と人格的な関係と交わりのうちに生きて働かれるお方である。従ってその主なる神の似姿（象）かたどって造られた人も他者と人格的な関係のうちに生きるもので

ある。他者と人格的な関係のうちに生きるものだからこそ、私たちは、いのちと平和を尊ぶ必要がある。

2 いのちと平和は人の手で育むもの  
神から賜るいのちと平和を享受して生きるために、人はそれらを神の愛によって育む必要がある。

私たちと創造主なる神の関係を損なう罪を贖うため神の独り子イエスは人となられて地上に生まれ、十字架にかかって死んで三日目に死人の中から蘇（よみがえ）ってくださった。それは神が御子を愛されたように私たちが互いに愛し合うようになるためだと聖書は教えている。

「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛にとどまりなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。」（ヨハネの福音書15章9〜12節）

神が賜るいのちと平和はキリスト者が、神の独り子イエスが私たちが愛したように互いに愛し合うとき、私たちの間に育まれていく。

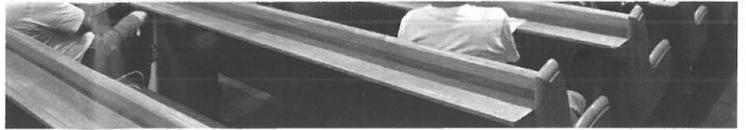
1 いのちと平和は創造主なる神のわざによる  
いのちの創造について  
旧約聖書の創世記の冒頭に



3 神の霊は私たちがいのちと平和を育むことを導き助ける  
御子イエスは御霊によらなければ人は神の国すなわち三位一体の神との交わりに入ることはできないとおっしゃった。

「イエスは答えられた。『まことに、まことに、あなたに言います。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者

ある。他者と人格的な関係のうちに生きるものだからこそ、私たちは、いのちと平和を尊ぶ必要がある。



学生リトリートの様子

は霊です。あなたがたは新しく生まれなければならぬ、とわたいが言ったことを不思議に思ってはなりません：「ヨハネの福音書3章5、7節）」

さらに、イエスは人が神との交わりにあずかるために、いのちと平和について聖書の見地から考察すると、クリスチャンの信仰は、信心ではなく信頼だということが明らかだ。つまり、信仰は個人に帰属するのではなく、関係に帰属するものだということだ。

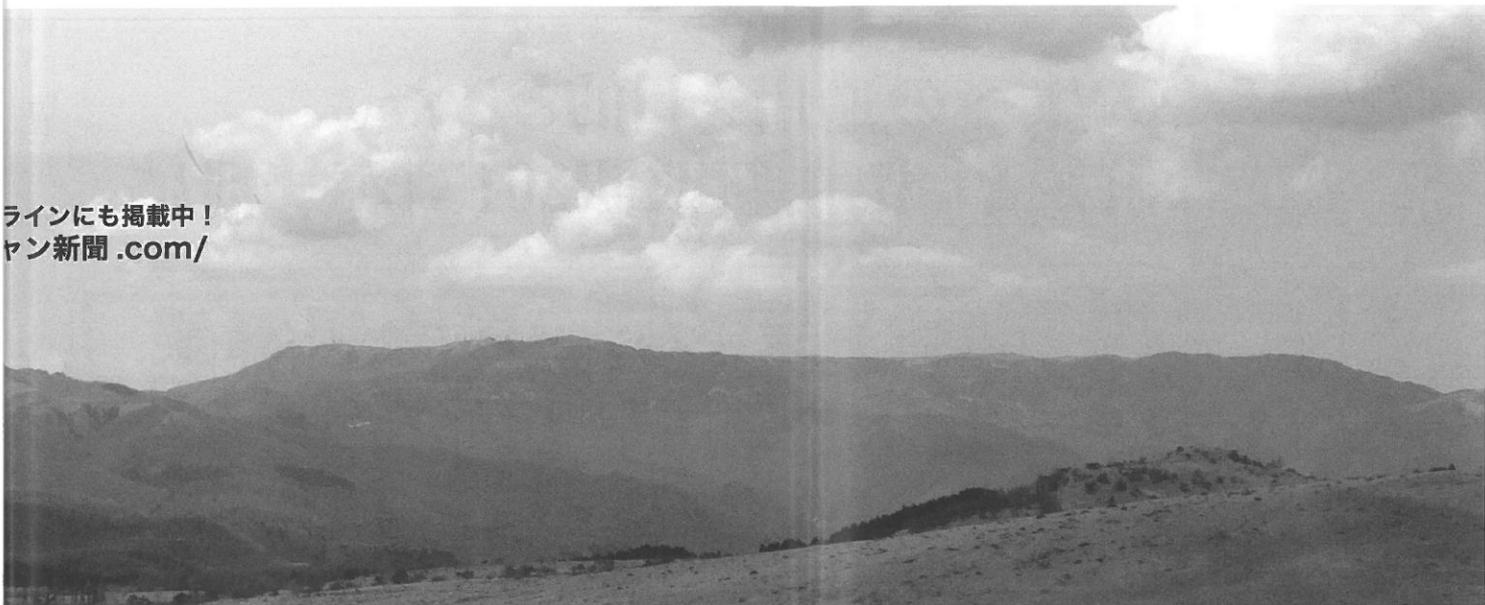
聖霊（弁護者）をご自身に従うものたちに父が遣わしてくださると約束なさった。「そしてわたしが父にお願いとすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてください。」（ヨハネの福音書14章16節）

聖霊が私たちにわかされるのはひとえに私たちが御子を下さった父なる神の愛を覚え、その愛に基づいて生きるためだ。「私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私

たちの心に注がれているからです。」（ローマ人への手紙5章5節）  
聖霊は、御子イエスが私たちが愛したように私たちが互いに愛し合うために私たちが導き助ける。その目的は私たちが隣人との間にいのちと平和を育むために他ならない。いのちと平和を尊ぶことについて思いをめぐらして気がついたことは、それらは第一に神に属するものであるということ。第二にそれらは神の賜物であるということ。第三にそれらは個人のうちにはなく他者との関係のうちに育まれるということだ。

いのちと平和について聖書の見地から考察すると、クリスチャンの信仰は、信心ではなく信頼だということが明らかだ。つまり、信仰は個人に帰属するのではなく、関係に帰属するものだということだ。だとするならば私たちは個人主義に籠絡（ろうらく）されたクリスチャンライフを三位一体の神との交わり、関係のうちにある必要があるのではないか。これはまさに今年4月に設立されたクリスチャンライフ学院の建学の理念でもある。

ラインにも掲載中！  
ヤン新聞.com/



## Jesus To Japan JTJ 宣教神学校

所在地：〒110-0015 東京都台東区東上野5-11-9  
☎03-3842-3412 FAX 03-3842-3415  
URL : <https://jesustojapan.com/>  
E-mail : [kyoumu-jtj@mx7.ttcn.ne.jp](mailto:kyoumu-jtj@mx7.ttcn.ne.jp)  
学 長：重田 稔仁、岸 義紘 (S.H)  
中野 雄一郎 (S.A)

超教派

→ 内  
校 案 料  
書 費 無  
を 送 料  
り 送 料  
し せ ず



目的と生活スタイルにあわせて選べる通信制と教室制。  
穏健な福音主義と偏らない超教派。  
日本における宣教の「新しい革袋」の創造に挑戦します。

学 科：  
【神学部】2年コース  
牧師志願科・信徒牧師科  
【神学部】1年コース  
信徒伝道者科・科目履修科ほか  
【教会教育奉仕者養成コース】  
【結婚・家族学コース】  
【バイブルスタディコース】



## 北海道福音伝道会 北海道聖書学院

所在地：〒003-0831 札幌市白石区北郷1条3丁目1-61  
☎011-871-7892 FAX011-871-7899

E-mail : [hbi@olive.plala.or.jp](mailto:hbi@olive.plala.or.jp) (HP) [北海道聖書学院](#)

立場—聖書信仰・福音主義・超教派 実践—信仰・従順・聖潔  
目的—牧師・宣教師等、牧会者・伝道者の育成。教会に仕える信徒の教育  
〈モットー〉キリストを知り、教会に世界に時代に仕える

- 学院長：松元 潤 ●代表役員：中川 昭一 ●評議会議長：菜花和男
- 教師：松元 潤、小澤 和男、水草 修治、吉永 光生 他講師陣多数
- 学科：本科コース（3年）、短期信徒コース（1年）、聴講制度（遠隔地授業含む）、夜間聖書講座（年2回各10週）
- 入試日程：  
 <入学願書提出締切> 第1期 2024年1月23日（火）  
 第2期 2024年2月20日（火）  
 <入学試験日> 第1期 2024年1月29日（月）  
 第2期 2024年2月26日（月）  
 詳細は本学院事務局まで。  
 <入学資格> 新生の経験と主の働きへの召命が明確であり、教会の推薦があること。  
 学歴不問。奨学金制度・家賃補助制度有。



位  
容